

9.12 (オンライン開催)
Sun 14:00-16:00

■パネルディスカッション
岡 真理 岡野内 正 後藤 絵美
Mari OKA Tadashi OKANOUCHI Emi GOTO

嶋田 晴行 登利谷 正人
Haruyuki SHIMADA Masato TORIYA

■問題提起
長沢 栄治
Eiji NAGASAWA

■モデレーター
鳥山 純子
Junko TORIYAMA

アフガニスタン問題を考える —イスラームとジェンダーの視点から—



(2003年ヘルートにて、後藤絵美氏撮影)

2021年8月17日、カーブル制圧を受けて、ターリバーンによる記者会見が行われました。日本では連日、ターリバーンによるアフガニスタン統治をめぐり、今後起こりうる女性の抑圧への危惧が報道されています。不安が広がる背景の一つにあるのが、イスラームとジェンダーをめぐる固定的な理解です。それが覆い隠すものとはいっていい何なのか。本セミナーでは、イスラームとジェンダーの視点を含め、さまざまな角度からアフガニスタン問題を考えていきます。

【参加方法】

ご参加希望の方は登録フォーム(<https://forms.gle/9SqF7DR5KN4Dtkm47>)またはポスター内のQRコードよりお申し込みください。

【主催】

・科研費 基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢 栄治)

・立命館大学 中東・イスラーム研究センター(CMEIS)

・科研費 新学術領域研究 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて—関係性中心の融合型人文社会科学の確立(代表:酒井啓子) B01班「規範とアイデンティティ」

